

令和 3 年度 墨田区立第四吾孺小学校 経営報告書

令和 4 年 3 月 1 4 日

学 校 目 標	◇健康で心豊かな子 ◇力を合わせてつとめをやりとげる子	◇よく考え進んで実行する子 ◇礼儀正しい子
目 指 す 学 校 像	◇学ぶ力が伸びる学校 ◇連携する学校 ◇安全・安心な学校	
目 指 す 子 供 像	◇元気でいききと学び、運動する子 ◇地域の中で育ち、社会に貢献する子 ◇四吾小の一員として、互いの良さを認め合い、高め合う子	
目 指 す 教 師 像	◇自ら学び、自己研鑽する教師 ◇教育公務員としての自覚をもち、保護者・地域社会の期待にこたえる教師 ◇「褒める・認める・きちんと論ず」ことができる、あたたかく、厳しく、情熱的な教師	

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	◇国語算数に加えて、理科の基礎力定着をめあてとした朝学習・放課後補習等の充実。 →区教育研究所作成の復習・ふり返り教材を積極的に活用していく。 ◇ICT 機器を活用した学習の展開。→全授業での活用。家庭学習での活用。 ◇読書指導の充実。→図書館司書との連携。地域図書館からの団体貸し出しや出張授業。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	◇特支コーディネーター・SCを中心に、要支援児の実態を把握（月 1 回、ケース会議）、適切な指導実施。 ◇交流授業・活動を意図的計画的に実施し、社会性・障がい理解等の伸長を図る。 ◇関係諸機関（特別支援学校等）との連携・活用。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	◇全教育活動を通して、意図的計画的なキャリア教育を実施。→地域人材・外部機関を活用した体験活動の充実。 ◇SC による児童面接の実施。	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	◇校内研究（言語活動の充実）を年間 5 回実施（研究授業 3 回・講演会 1 回）。→各教科において「言語活動を駆使して考えを高め、深めあう」指導の工夫を追求した。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		◇オンライン授業技術の学級・教員間の力量差を縮めてほしい。区教委のオンライン授業研修会などの充実を望みます。 ◇先生方が「わかりやすい授業」を心がけているとことが見て取れます。		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	◇全教員が共通認識のもと、問題行動に未然防止・解決にあたる。→週1回の連絡会実施。共通認識・共通行動で対応。 ◇いじめ・不登校対策の充実。→月1回の対策会議を実施し、情報の共有化を図り、組織的に対応。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	◇あいさつの励行、言葉遣いを意識。→担当教員が毎日玄関に立ち、健康観察・あいさつ運動を実施。 ◇道徳教育年間計画の完全実施。 ◇長期休業明けに生活リズムチェック習慣を設定し、生活リズムを整える。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。 (コロナ感染防止対策も含む)	B	◇健康・安全な生活環境づくり。→月1回の保健指導・安全指導。長期休業あけの生活リズム調査。情報モラル教室。 ◇食育・アレルギー対策の充実。→食育の強化。 ◇人権教育の充実。→日常的な指導と道徳の時間での指導の連動。不適切な言動への即時対応・指導。 ◇防災教育の充実。→区関連機関、校長による戦災・震災の教訓をふまえた防災教室の実施。	B	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	◇保護者からの意見、保護者アンケートからの意見 →学校内で課題を把握、改善策の検討。改善策の実施 ◇PTA 行事関係の改善 →PTA 定例会を月1回実施し、改善策を検討、共通理解を図ったうえでの実施。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		◇キラキラ橘商店街を「あいさつ通り」にして、地域と一緒に取り組めたらよいと思います。 ◇主体的な児童が多いと感じる。少人数のよさを生かして、「自分たちで解決できる力」をより一層伸ばして欲しい。 ◇小規模校のよさを生かして、行き届いた指導がなされていると思います。		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	◇経営方針の理解と、各教員の適切な目標設定。 ◇分掌組織上の役割理解と確実な実施。→確実な引き継ぎと、状況変化への柔軟な対応・変更。	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	◇教育目標の柔軟な設定変更。→内部・外部評価を総合的に勘案し、毎年度末に次年度目標を再設定する。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	◇月1回の施設安全点検の徹底。 ◇未整備の教室・施設の整理整頓と有効活用 ◇修理・改修が必要な施設への早期対応。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		◇学校内の清掃が行き届いています。 ◇校庭改修について実施予定を周知するとよいと思います。 ◇校長先生を先頭に、『管理が行き届いていると感じます。』		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	◇学校便り、学級便り、各学年通信等を通して、教育活動の実際を伝える。 ◇学校 HP のさらなる充実（見やすいカテゴリー分け）。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	◇各種教育活動への保護者の協力（ボランティア等）。→体育・文化的行事を中心に協力要請。 ◇地域人材を活用・協力を得ての体験学習を実施し、地域の一員としての自覚を高める。 ◇地域行事への積極的な参加。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	◇コロナ禍において、学校と地域が協力して子供たちのために何ができるのかを検討する機会をもってほしいと思います。 ◇学校行事・地域行事の縮小により、「地域との連携」が難しくなっています。少しずつ以前の状態に戻していきたいものです。 ◇いろいろな情報を発信していただいているので、助かります。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

◇新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて「冷静に状況判断し、今できることを確実に実行すること」を第一義とし、安全安心な学校経営を心がけた。1月半ばより、児童、教職員に感染者が出始めているが、クラスターは発生していない。学級閉鎖等の場合は、タブレットを活用したリモート授業の配信も行っており、学ぶべき内容は、おおむね修了する見込みである。

◇GIGA スクール構想（タブレット導入、ICT を活用した学習の充実など）への取り組みは、先進校の実践例や区教委の研修資料を参考に、積極的に行っている。教員同士が教え合う OJT が進み、教員全体の活用能力も向上した。

◇区学力調査では、良好な成績を修めている。特に、高学年が安定した成績をあげている。本校は「学年が上がるにつれて成績が伸びる（少なくとも現状維持）」のが特長である。教員はもちろん、学習支援員などの外部人材も活用しながら、今後も丁寧な個別指導を実施していく。

◇各種たよりの発行などのアナログ情報発信に加えて、情報連絡メールの活用、ICT を利用したアンケート調査実施などの新たな取り組みも開始している。また、ホームページの更新回数を大幅に増やした。来年度はレイアウト変更、掲載内容の充実などにも着手する。

◆来年度も、安全安心を最優先した学校経営を進める。また、コロナ禍の状況変化に柔軟に対応すべく、常に複数の計画案・実施案を立案しながら、教育活動のさらなる充実を図っていく。

以上の通り報告いたします。